

住宅防火モデル地区を指定

豊玉町千尋藻地区・厳原町安神地区



防火モデル 千尋藻地区



防火モデル 安神地区

対馬市消防本部が住宅火災による死者減少を目指し、住民の防火意識並びに自主的な防火対策の高揚を図るため、当地区を防火モデル地区として指定したもので、市内では厳原町豆酛地区に続いて5ヶ所目になります。

千尋藻漁村センターで行われた指定書交付式では、立石晴夫区長が「地域ぐるみで防火意識の向上に努め、千尋藻地区が模範となるべき地域になるようにしなければなりません」と防火の重要性を話され、乙宮へき地保育所幼年消防クラブの子供から「火の用心マッチ1本火事の元、お父さん、タバコの投げ捨てやめましょう」など元気な声で防火宣誓が行われました。

今後は、防火教室や消火訓練、住宅用防災機器等の普及推進などの事業を重点的に行い住宅防火対策の推進を行う予定です。なお、安神地区においては、住宅用火災警報器・住宅用消火器の贈呈式も行われ、さっそく消防団員が各家庭を回り寝室や階段に取り付けていました。



住宅用火災警報器の取り付け様子(安神地区)

隠れた対馬の名所を巡る

こしま HOT SPOT

龍良山原始林

厳原町市街から南下し、内山峠を越えると、左手に対馬で2番目に高い、標高558・5メートルの雄大な龍良山原始林が見えてきます。

ここは、古くから神体山として山全体が神地であったため、照葉樹林の原始林が広範囲に残っていて、国の天然記念物にも指定されています。

内山の鮎もどし公園近くの登り口から木漏れ日の降り注ぐ原始林を歩いていくと、そこには太古から続く植物の世代交代や、ゆつくりと進んでいく時間の中で逃げたくても逃げることができない植物たちの熾烈なバトルを見ることが出来ます。

そこから更に先に進んでいくと、巨木「スタジイ」がお出迎えしてくれます。



「トトロ」でも住んでいそうな巨木に圧倒され、自分も小人になったかのような錯覚すら覚えます。入口からこ

のスタジイまで20分ほどの距離ですが、ここまででも十分に人の手が加わっていない自然の物語を見ることが出来ます。

この原始林の中を歩いていると、いつのまにかタイムスリップしたような気分になってしまいます。

また、頂上まで登ると、眼下に内山の山村風景を眺めることができます。龍良山に入山をされる場合は必ず入山申請をし、初めての方は案内人をつけるなど、事故のないように気をつけてください。

対馬市役所観光物産推進本部
0920(53)6111
メールアドレス
asighiseeing@city-tsushima.jp

お知らせ

今まで、龍良山、有明山、白嶽御嶽などの国有林に入山するときは、2週間ほど前までに長崎県森林管理所へ入山申請を提出し許可を得る必要がありますが、森林管理所と協議した結果、これからは龍良山以外の国有林については、入山3日前までに入山届を提出するだけで入山ができるよう簡素化されました。入山の問い合わせ先

長崎県森林管理所 厳原町日吉2933
0920520243
2